

2025年12月1日

「第25回 貨物鉄道論文賞」について

当社では、環境にやさしい輸送機関である貨物鉄道の発展と利用促進をめざして、貨物鉄道輸送に関する先進的な利用実績や独創的な提案・研究などを顕彰する、貨物鉄道論文賞論文の募集を行ってまいりました。

厳正な審査の結果、下記のとおり、本年の受賞論文を決定いたしましたのでお知らせします（最優秀賞1点、優秀賞2点、奨励賞2点、特別賞2点、U-25賞1点）。また、その表彰式・懇談会を、2025年12月4日に開催します。

賞	題 名 所属・氏名（敬称略）
最優秀賞	J R 貨物「再定義」の20年（1991年～2011年） ー合理化と技術革新が描く、現代物流への教訓と未来図ー 朝日大学 経営学部 なかがき かつおみ 中垣 勝臣 どい よしお 土井 義夫 J R 貨物の制度的・技術的・経営的変容を通史的に検証し、民営化後の同社の取り組みを着実かつ丹念に考察した意欲的な論文。これまでの史的経験と制度的遺産を活用することで、今日的課題に対応可能であることを説いている。
優 秀 賞	エコレールマークを通じた 貨物鉄道輸送へのモーダルシフト促進に向けた課題 神戸大学大学院 海事科学研究科 あきた なおや 秋田 直也 エコレールマークの有効性が十分に発揮されていない背景を、500人にのぼる学生へのアンケートをもとに考察するとともに、モーダルシフトの促進に向けた貨物鉄道の認知度向上について様々な施策を提案した。
優 秀 賞	鉄道モーダルシフトの促進のための課題と制度設計に関する考察 神戸大学 ひびの さな 日比野 紗奈 自然災害への耐性の低さなど、モーダルシフトが進んでいない要因について考察した。物流効率化法の認定事業について丁寧に分析するとともに、荷主が貨物鉄道輸送を選択しやすくなる環境づくりの重要性を指摘した。
奨 励 賞	日本の農産物輸送における鉄道の新たな可能性について ー効率的かつ安定的な輸送を目指してー 明治大学 みねお たくみ 峯尾 拓実 季節波動の大きさや品質管理の難しさなど、農産品輸送に関する課題をしつかりと把握したうえで、貨物鉄道輸送の可能性について多角的に論じるとともに具体的な提案を示した。

賞	題 名 所属・氏名（敬称略）
特 別 賞	鉄道貨物輸送を核としたモーダルミックスの課題と展望 合同会社デロイトトーマツ うえだ えみ こ 上田 恵美子 貨物鉄道輸送を核としたモーダルミックスの課題と展望について、資金調達 の多様化など新たな視点も踏まえながら、将来のあるべき物流スタイルを提 唱した。
特 別 賞	変わり続けるこれからの貨物鉄道輸送の未来 ～貨物鉄道輸送が追い風に乗るために～ F-LINE 株式会社 えとう まさあき 江藤 正明 意識改革や情報開示など、利用者の視点から貨物鉄道輸送の課題や改善 すべき点について具体的に論じ、モーダルシフトの推進に向けた提言を 行った。
U－25賞※	自動車部品輸送における 31ft コンテナを用いたモーダルシフト促進に向けた分析 東京海洋大学 おおべ ひなた 大部 陽向 自動車部品の納入物流と 31ft コンテナの親和性について言及したう えで、物流センサスを用いたモーダルシフト促進候補区間の提示など、具 体的な提案につなげた。

※U－25賞は、主たる著者が 25 歳以下の応募論文の中から、惜しくも受賞に至らな
かった作品を対象とする賞で、今年度より新たに設けられた賞です。